

社会資本総合整備計画
黒磯駅周辺地区

平成30年1月19日

栃木県那須塩原市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年1月19日

計画の名称	122 黒磯駅周辺地区										重点配分対象の該当																							
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）					交付対象	那須塩原市																											
計画の目標	<p>本市では、モータリゼーションの進展や大型店の郊外立地に起因する郊外での無秩序な開発が行われた結果、拡散型の都市構造となっており、本地区を含む中心部では、人口減少と急速な高齢化とともに、低未利用地が散在しており、活力が失われている。しかし本地区は、旧来から中心地として商業、教育及び医療施設などの都市機能の集積が図られ、公共交通機関の拠点となるなど、都市活動の中心的役割を果たしてきた地区である。</p> <p>このことから、拡散型の都市構造を持続可能でコンパクトな都市構造へ転換させるため、都市機能と交通結節機能の強化を図り、地元商店街を中心とした街の魅力の再生による集住促進に資する事業に取り組み、官民一体となって目標である「都市機能の向上による持続可能な中心市街地くろいその再興」を目指す。</p>																																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の満足度を23.2%（H25）から66.6%（H30）に増加 ・中心市街地への滞在時間が1時間以上の来街者の割合を17.6%（H26）から48.4%（H30）に増加 ・東西連絡通路の利用者数を480人/12h（H23）から510人/12h（H30）に増加 																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>黒磯駅周辺の都市環境に満足している住民の割合</td> <td>23.20%</td> <td>30.00%</td> <td>66.60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>滞在時間が1時間以上の来街者の割合</td> <td>17.60%</td> <td>26.00%</td> <td>48.40%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東西連絡通路の利用者数</td> <td>480人/12h</td> <td>480人/12h</td> <td>510人/12h</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	黒磯駅周辺の都市環境に満足している住民の割合	23.20%	30.00%	66.60%		滞在時間が1時間以上の来街者の割合	17.60%	26.00%	48.40%		東西連絡通路の利用者数	480人/12h	480人/12h	510人/12h	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																															
黒磯駅周辺の都市環境に満足している住民の割合	23.20%	30.00%	66.60%																															
滞在時間が1時間以上の来街者の割合	17.60%	26.00%	48.40%																															
東西連絡通路の利用者数	480人/12h	480人/12h	510人/12h																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,449.6百万円	A	4,427.6百万円	B	0百万円	C	22百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.5%																						
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
122-A-1	都市再生	一般	那須塩原市	直接	那須塩原市	黒磯駅周辺地区都市再生整備計画	区域面積：141.6ha 中心拠点誘導施設等	那須塩原市	H26	H27	H28	H29	H30	4,427.6																				
合計													4,427.6																					
B 関連社会資本整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H26	H27	H28	H29	H30																					
合計																																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
C 効果促進事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
1-C-1	活動支援	一般	那須塩原市	間接	黒磯駅前活性化委員会	空き店舗活用事業	空き店舗改修費用を助成	那須塩原市	H26	H27	H28	H29	H30	5																				
1-C-2	活動支援	一般	那須塩原市	間接	黒磯駅前活性化委員会	NPO法人設立支援事業	NPO法人設立へ向けた支援	那須塩原市						5																				
1-C-3	活動支援	一般	那須塩原市	直接	那須塩原市	アドバイザー派遣事業	民間まちづくり活動への専門家派遣支援	那須塩原市						3																				
1-C-4	活動支援	一般	那須塩原市	間接	えきっぷくろいそ	イベント活動支援事業	新たなイベント実施への支援	那須塩原市						4																				
1-C-5	調査	一般	那須塩原市	直接	那須塩原市	事業活用調査	事業活用調査業務	那須塩原市						5																				
合計													22.0																					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H26	H27	H28	H29	H30																					
合計																																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						

交付金の執行状況

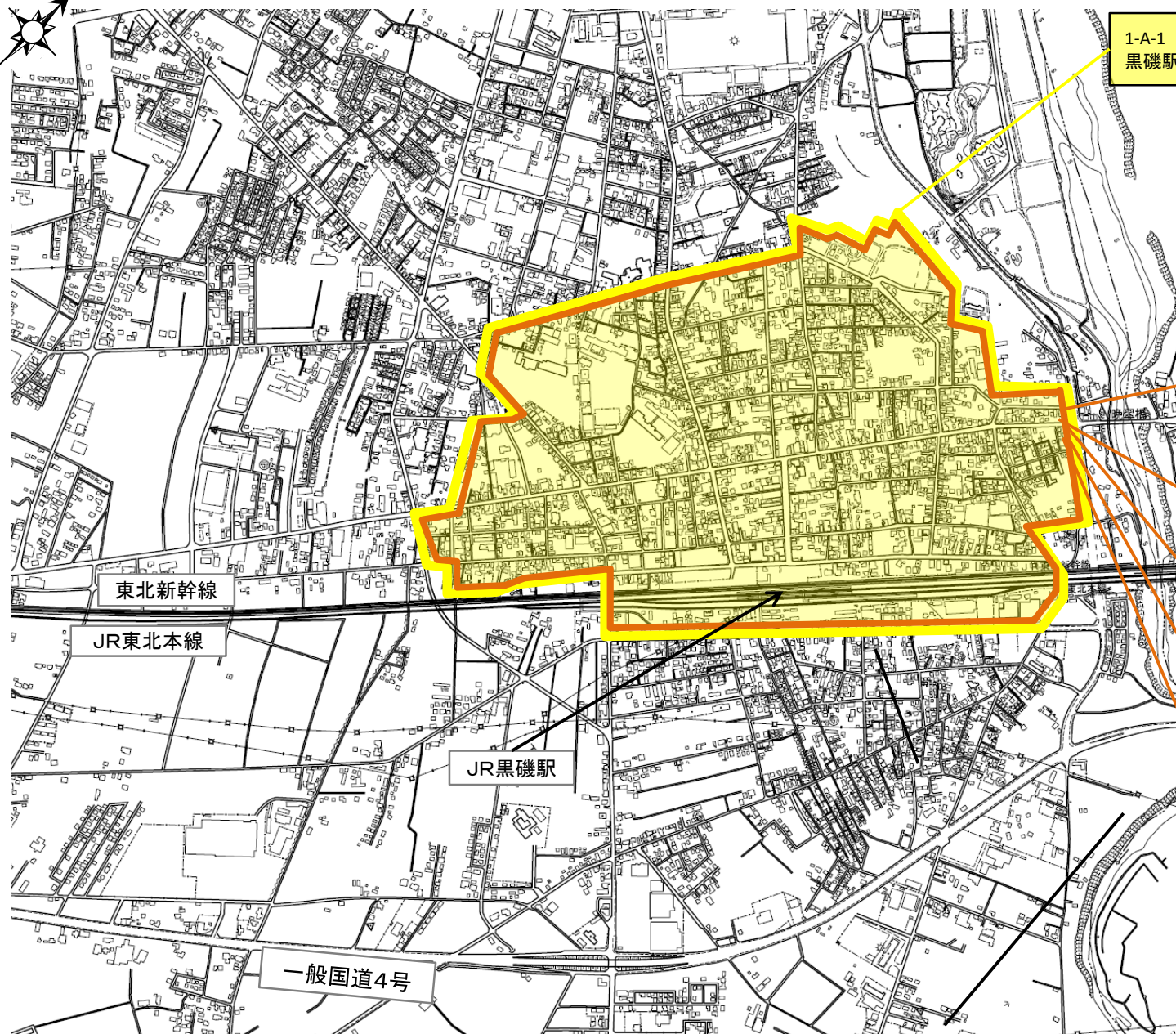
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	83	212	530	571	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	83	212	530	571	
前年度からの繰越額 (d)	0	15	107	515	
支払済額 (e)	68	120	122	708	
翌年度繰越額 (f)	15	107	515	378	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	325		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	51.1%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由			入札不調による		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 黒磯駅周辺地区	交付対象	那須塩原市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		



1-A-1
黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業

1-C-1
空き店舗活用事業

1-C-2
NPO法人設立支援事業

1-C-3
アドバイザー派遣事業

1-C-4
イベント活動支援事業

1-C-5
事業活用調査

凡	例
	基幹事業
	関連社会資本整備事業
	効果促進事業

都市再生整備計画（第4回変更）

くろいそえきしゅうへんちく
黒磯駅周辺地区

（都市再構築戦略事業（人口密度維持タイプ））

とちぎけん なすしおぼらし
栃木県 那須塩原市

平成31年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	とちぎ けん 栃木県	市町村名	な す しおほらし 那須塩原市	地区名	クロインエキシウヘンチク 黒磯駅周辺地区(都市再構築戦略事業)	面積	141.6	ha
-------	---------------	------	--------------------	-----	------------------------------------	----	-------	----

計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度	交付期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度
------	----	----	----	---	----	----	----	------	----	----	----	---	----	----	----

目標

- 大目標 都市機能の向上による持続可能な中心市街地くろいその再興
- 小目標① 快適な生活と滞在が可能な都市環境の形成
- 小目標② 地域資源を生かした商業空間の集積による街の魅力向上とにぎわいの再生
- 小目標③ 交通結節機能の強化と駅東西市街地の一体性の確保

目標設定の根拠

都市全体の再構築方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための再構築方針)

本市では、モータリゼーションの進展や大型店の郊外立地の影響により、郊外での無秩序な開発が進み、拡散型の都市構造となっている。本市の中心市街地である黒磯駅周辺地区においては、郊外への市街地拡大が進んだ結果、空き地や空き家が増加し、人口減少と急速な高齢化が進んでいる。しかし本地区は、旧来から旧黒磯市の中心地として商業、教育及び医療施設などの都市機能の集積が図られ、都市活動の中心的役割を果たしてきた地区である。また、黒磯駅は鉄道・バスなどの公共交通機関の拠点となっており、交通利便性が高い地域として、駅を中心に住民・観光客が集散する地域の核となっている。

こうしたことから、拡散型の都市構造を集約型のコンパクトで持続可能な都市構造に転換させるため、地域の核である駅周辺を中心拠点区域に位置付け、周辺のみとまった低未利用地において教育文化施設と複合交流施設を新たに整備し、駅前広場などのインフラ整備も同時に実施することで、都市機能と交通結節機能の向上を図り、駅を中心として地域交流を促進させ、集住の誘導を行うことで、都市の再興を目指す。

市では、持続可能な行政経営を行うため、市有施設の効率的で効果的な活用を目標とした「市有財産の有効活用に関する基本方針」を策定し、本地区においてもその方針を踏まえ、臨時駐車場となっている駅西口市有地に(仮称)駅前図書館を整備するとともに、周辺商店街内のスーパー跡地等を、地域ブランドの商品を紹介、即売などを行うスペースを設けた交流センターを整備するなど、官民一体となった公的不動産の有効活用を目指している。また、公共施設等総合管理計画の策定にも着手することで、人口減少等を踏まえた公共施設の更新・統廃合等を計画的に実施していくこととしている。

更に、立地適正化計画においては、庁舎の移転が予定されているJR那須塩原駅周辺を広域拠点と位置付け、各種の都市機能の集積を目指すとともに、旧来からの中心市街地であるJR黒磯駅とJR西那須野駅を地域拠点と位置付け、公共施設の再編と連携しまちなかへの都市機能の再配置を検討することで、これまで集積されてきた中心市街地における都市機能の維持を図り、3駅を核としてコンパクトシティの形成を目指す。また、鉄道軸で結ばれた3駅を拠点として、地域コミュニティバスやデマンド交通を運行し、コンパクトなまちづくりと一体となった地域公共交通ネットワークの強化を図る。

まちづくりの経緯及び現況

平成17年1月に、黒磯市、西那須野町、塩原町の合併により誕生した那須塩原市は、国道4号やJR線、東北縦貫自動車道などの主要交通網の充実により、観光などのサービス業や、交通・物流面における県最大の拠点としての役割を担っている。JR各駅(黒磯駅・那須塩原駅・西那須野駅)の周辺を市街地拠点として、それぞれの地域特性やニーズに合った都市環境が形成されている。しかし、郊外において大型店の出店と分散した宅地開発が増加した結果、本地区を含む中心部では人口減少と高齢化が急速に進むとともに低未利用地が増加し、中心市街地としての活力が低下している。

旧黒磯市で平成16年度に策定した「黒磯市中心市街地活性化基本計画」には、中心市街地における市街地の整備改善と商業等の活性化の一体的推進を掲げており、那須塩原市においてもイベント活動への支援や空き店舗対策など主にソフト事業への支援を行ってきた。また、生活利便性の高い都市型住宅地としての居住環境の維持・形成、歴史的町並みを活かした商業地区としての地元商店街を中心とする観光政策にも取り組んできた。一方で、市の人口は将来的には減少に転じ高齢化が急速に進行していくことが予想される中、持続可能な都市経営を行っていくには、これまでの施策にとどまらず、都市構造全体のあり方を見直し、居住の集積と都市機能の維持と向上を図ることにより、集約型都市への再興を図ることが必要となっている。

このため、市では都市の再興への核となる事業として、平成23年度から「黒磯駅前広場整備基本計画」の策定に着手したとともに、集住へ向けた取り組みとして、空き店舗を活用した地域交流の場が市民主体で設置され、そこを拠点として各種の駅前活性化事業が行われるなど、官民一体となった取り組みを行っているところである。

課題

- ・人口減少や急速な高齢化など社会経済情勢の変化に対応し、持続可能な行政経営を行っていくため、人口減少を前提とした都市政策への転換が必要となっている。
- ・大型店の出店や宅地開発の影響により自動車に依存した郊外拡散型の都市構造となっているが、インフラの維持管理コストの増大も懸念されるため、駅周辺など既存ストックのある交通利便性の高い市街地へ都市機能を集約し、集住の促進を促すことにより、持続可能な集約型都市構造に再構築を図る必要がある。
- ・市の顔である中心市街地において、地域資源を生かした街の魅力の再生に向け官民一体となって取り組むことで、街の賑わいを創出し地域経済を維持していく必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- 第一次那須塩原市総合計画 後期基本計画
- ・那須塩原市の将来像を実現するため、①安全に安心して暮らせるまちづくり②個性が輝くまちづくり③市民との協同によるまちづくり④効率的・効果的な行政運営によるまちづくりの4つを基本理念とし、「基本理念に基づく持続可能な共生社会の構築」を基本方針としている。
- 都市計画マスタープラン
- ・将来都市構造の基本的な考え方を「集約型の都市構造への転換」とし、○計画的な市街地の整備 ○宅地化の進む地域の整除 ○市街地間の連携強化 ○郊外の保全に取り組むことで集約型の都市構造の実現を目指すとしている。
- 都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
- ・那須塩原市において、JR黒磯駅周辺地区は、JR那須塩原駅周辺地区、JR西那須野駅周辺地区と並び、コンパクトな都市構造の実現を目指す上での地域拠点のひとつと位置付けられている。本地区については、生活利便性の高い都市型住宅地として、行政サービス・商業・交通機能を生かした良好な居住環境の維持、形成に努めるほか、歩行者、特に高齢者の東西の往来を円滑にするため、地区内及び駅周辺のバリアフリー化を推進し、交通結節点としての利用環境の充実を図るものとする。

都市再構築戦略事業の計画

都市機能配置の考え方

人口減少社会において持続可能な都市経営を行うために、市全体を集約型都市構造への転換を図っていくものとし、行政が積極的に整備する範囲を明確にし計画的な市街地の整備と宅地化の進む地域の整序を行い、市街地間の連携強化のため交通網の整備を行う。また、文教施設、公園施設、厚生福祉施設、交通施設、コミュニティ施設等の公共公益施設については、住民の利便性を重視し、地域生活の拠点となる区域へ計画的に配置する。併せて、郊外部は農業地域として開発を抑制することで、民間開発の中心拠点区域への誘導を図る。

本市は、JR線の各駅を中心に市街地が形成された多核型の都市構造となっているが、各駅の周辺居住人口と特性に応じた都市機能をそれぞれの駅周辺に集約させることを目指す。特に、JR黒磯駅、西那須野駅周辺においては既存ストックを生かし、都市機能の維持と更なる集積を図り、集約型都市構造の形成を図る。JR那須塩原駅周辺においては、市庁舎の移転が計画されており、観光と行政の広域拠点の形成を目指す。

本地区については、旧黒磯市の市街地であり、教育・商業・医療等の施設が集積し、都市の中核機能を担う地域である。また観光地(那須方面)へのバス玄関口等公共交通機関の拠点となっている。これらの既存ストックが持っている都市機能の維持と強化のため、駅周辺へのさらなる公共公益施設の集積を図り拠点性を高めるとともに、駅の交通結節機能の強化し、駅を中心として都市の再興を目指す。こうしたことを踏まえ、教育文化施設(図書館)の建設にあたっては、中心拠点区域内における駅に隣接した低未利用地である市有地を活用し、駅周辺来街者用の駐車場と併せて整備を行うことで、機能的で利便性の高い住民ニーズに合った施設の提供が可能となり、都市機能の集約化を推進を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な中心拠点誘導施設及び生活拠点誘導施設の考え方

現在、駅前広場に隣接する市有地が臨時駐車場となっており有効利用されていない状況であることから、土地の効率的な利用を図るため、駐車場としてだけでなく中心拠点誘導施設として(仮称)駅前図書館を一体的に整備する。交通利便性が高く商業拠点となっている箇所図書館を整備することで利用者の利便性を向上させるだけでなく、今まで連携が図られていない商店街の活性化に向けた課題解決などの連携を図ることができる。また、駅に近接していることから観光客の利用も見込め、まちの魅力を発信させていく機能も付加することで、図書館利用者と観光客が出会う場所となり新たな交流が生まれるなど、駅付近の拠点性の向上を図ることができる。こうしたことから、図書館を駅付近に整備することは駅周辺のコミュニティ形成にも寄与し、駅を中心とした集約型都市構造への転換につながると考えている。

都市再生整備計画の目標を達成するために必要な交付対象事業

・道路(都市再構築戦略事業)(黒磯駅西口広場)…駅利用者の利便性向上のため、西口広場をユニバーサルデザインに配慮させ、黒磯地区の顔に相応しい景観にも配慮した駅前広場に再整備し、黒磯駅の交通結節機能の強化とともに良好な都市環境を形成する。

・道路(都市再構築戦略事業)(黒磯駅東口広場)…未整備となっている東口広場の整備することで交通結節機能を高めるとともに、JR線で分断されている東西市街地の一体性の向上を図る。

・道路(都市再構築戦略事業)(黒磯駅東西連絡通路)…階段やクランクが多く不便な自由通路にエレベーターを設置することで、バリアフリー化し利用者の利便性向上とJR線で分断されている東西市街地の一体性の向上を図る。

・道路(都市再構築戦略事業)(市道宝来通り線)…駅前広場や中心拠点誘導施設の整備と合わせ、各施設へのアクセスの向上のため、交差点改良などの周辺道路の整備を行い、都市機能のさらなる強化を図る。

・道路(都市再構築戦略事業)(市道原街道線)…歩行空間の改善などの道路改良や景観に配慮した周辺道路の整備を行い、周遊性と周辺環境の向上を図ることで、都市機能の集約を促進させる。

・道路(都市再構築戦略事業)(市道宮町横線)…歩行空間の改善などの道路改良や景観に配慮した周辺道路の整備を行い、周遊性と周辺環境の向上を図ることで、都市機能の集約を促進させる。

・地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業)(黒磯駅西口駐輪場)…既存駐輪場利用者の利便性を向上させるため、西口駐輪場を整備することで、都市環境を向上させる。

・地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業)(黒磯駅西口駐輪場)…既存駐輪場利用者の利便性を向上させるため、西口駐輪場を整備することで、都市環境を向上させる。

・高質空間形成施設(都市再構築戦略事業)(市道本町横1号線)…景観に配慮した周辺道路の整備を行い、周遊性と周辺環境の向上を図ることで、都市機能の集約を促進させる。

・高質空間形成施設(都市再構築戦略事業)(市道宮町縦2号線)…景観に配慮した周辺道路の整備を行い、周遊性と周辺環境の向上を図ることで、都市機能の集約を促進させる。

・高質空間形成施設(都市再構築戦略事業)(市道本町横2号線)…歩行空間の改善などの道路改良や景観に配慮した周辺道路の整備を行い、周遊性と周辺環境の向上を図ることで、都市機能の集約を促進させる。

・高次都市施設(都市再構築戦略事業)((仮称)まちなか交流センター)…駅前商店街のスーパー跡地等を有効活用し、随時、地元住民及び観光客が利用できる場所として、交流センターの整備を行う。この施設は中心拠点誘導施設である(仮称)駅前図書館と同様、まちの魅力を発信していくため、まちのコンシェルジュとしての機能を付加し、図書館に設置予定の観光資料・郷土図書コーナーと連携して観光客のまちなかへの誘客を図る。また、駅周辺に地域住民が集まり回遊させるため、図書館と交流センターにギャラリーを設置し地域住民の主催による企画展などを開催するとともに、子育て世代が安心して中心市街地を回遊できるよう、キッズスペースを設けるなど子育て支援機能を充実させ、駅周辺における地域コミュニティ活動の再生を図る。さらにチャレンジショップを始めとして起業支援機能を付加し、集積した知と情報を生かすため、交流センターは事業化へ向けた実践の場とするなど、2施設の連携を図る。この施設により地域住民と観光客、及び異業種間の新たな交流が生まれ、商店街の拠点性と回遊性の向上にもつながり、交流拠点として駅周辺の再興を図る。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
中心市街地の満足度	%	黒磯駅周辺の都市環境に満足している住民の割合	黒磯駅周辺の都市機能の整備により、都市環境の快適性と利便性向上を図ることで、街に満足している住民の割合を増やす。	23.2%	H25	66.6% H30
来街者の滞在時間	%	滞在時間が1時間以上の来街者の割合	街の魅力を再生させるための各種事業により、来街者の滞在時間延長を図り、賑わいの創出につなげる。	17.6%	H25	48.4% H30
東西連絡通路利用者数	人/12h	東西連絡通路の利用者数	交通結節機能の強化により東西連絡橋の利用者数を増加させ、駅周辺の利便性向上と東西市街地の一体性の確保を図る。	480人/12h	H23	510人/12h H30

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【快適な生活と滞在が可能な都市環境の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅西口広場に隣接した市有地を有効活用するため、(仮称)駅前図書館を整備し拠点性を高め、都市環境を改善する。 ・駅周辺商店街のスーパ跡地等を有効活用するため、交流センターを整備し、地元住民及び観光客の交流拠点を形成させる。 ・駅前広場の整備により、駅利用者の利便性の向上を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <p>道路(都市再構築戦略事業):黒磯駅西口広場 道路(都市再構築戦略事業):黒磯駅東口広場 道路(都市再構築戦略事業):黒磯駅東西連絡通路 高次都市施設(都市再構築戦略事業):(仮称)まちなか交流センター 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):黒磯駅西口駐輪場 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):黒磯駅西口駐車場 中心拠点誘導施設:(仮称)駅前図書館</p> <p>【関連事業】</p> <p>街なみ環境整備事業 黒磯駅前アーケード撤去事業 空き店舗活用事業 事業活用調査</p>
<p>【地域資源を生かした商業空間の集積による街の魅力向上とにぎわいの再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内には、神社や石蔵などの歴史的建築物や老舗商店が点在していることから、これら地域資源を生かした空間を演出するため、道路の高質化など景観に配慮した整備を行うことで、周遊性や集客性の向上を図るとともに、商業施設の集積につなげる。 ・駅周辺の商店街内のスーパ跡地、旧ホテル建物などが商店街の連続性を阻害し景観を悪化させていることから、地域の趣きを活かした広場や交流施設の整備を行い、街の魅力の向上につなげる。 	<p>【基幹事業】</p> <p>道路(都市再構築戦略事業):市道原街道線 道路(都市再構築戦略事業):市道宮町横線 高次都市施設(都市再構築戦略事業):(仮称)まちなか交流センター 高質空間形成施設(都市再構築戦略事業):市道宮町縦2号線 高質空間形成施設(都市再構築戦略事業):市道本町横1号線 高質空間形成施設(都市再構築戦略事業):市道本町横2号線</p> <p>【関連事業】</p> <p>街なみ環境整備事業 黒磯駅前アーケード撤去事業 空き店舗活用事業 NPO法人設立支援事業 アドバイザー派遣事業 イベント活動支援事業 事業活用調査</p>
<p>【交通結節機能の強化と駅東西市街地の一体性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の交通結節機能を強化し駅利用者の利便性を向上させるため駅東西口広場と駐輪場、駐車場の整備を行う。 ・JR線で分断されている駅東西の一体性を高めるため、東西連絡通路の改修を行う。 ・駅前広場周辺の歩行空間とアクセス向上のため交差点改良等の道路整備を行う。 	<p>【基幹事業】</p> <p>道路(都市再構築戦略事業):黒磯駅西口広場 道路(都市再構築戦略事業):黒磯駅東口広場 道路(都市再構築戦略事業):黒磯駅東西連絡通路 道路(都市再構築戦略事業):市道宝来通り線 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):黒磯駅西口駐輪場 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):黒磯駅西口駐車場</p> <p>【関連事業】</p> <p>事業活用調査</p>
<p>事業実施における特記事項</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前商店有志による 黒磯駅前活性化委員会では、黒磯駅前を今の時代にあつた「地域の顔」として機能再生を図ると共に、観光地の玄関口だけでなく黒磯駅前自体が観光地として誘客を図れるような地域づくりに取り組んでおり、「黒磯駅前キャンドルナイト」「もったいない市」「年金セール」などのイベントの企画・実施等を行っている。 ・黒磯駅周辺地区の活性化策を検討するため、地元有志による団体「えきつぶくろいそ」が結成され、ワークショップによる意見交換を重ねているとともに、団体が主体となって活性化方策に多くの市民の声を反映させることを目的に「市民投票」を実施し、住民ニーズを把握するなど精力的な活動を行っており、まちづくりへの市民参加の機運が盛り上がっている。 <p>【官民連携事業】</p> <p>※都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。</p>	

都市再生整備計画の区域

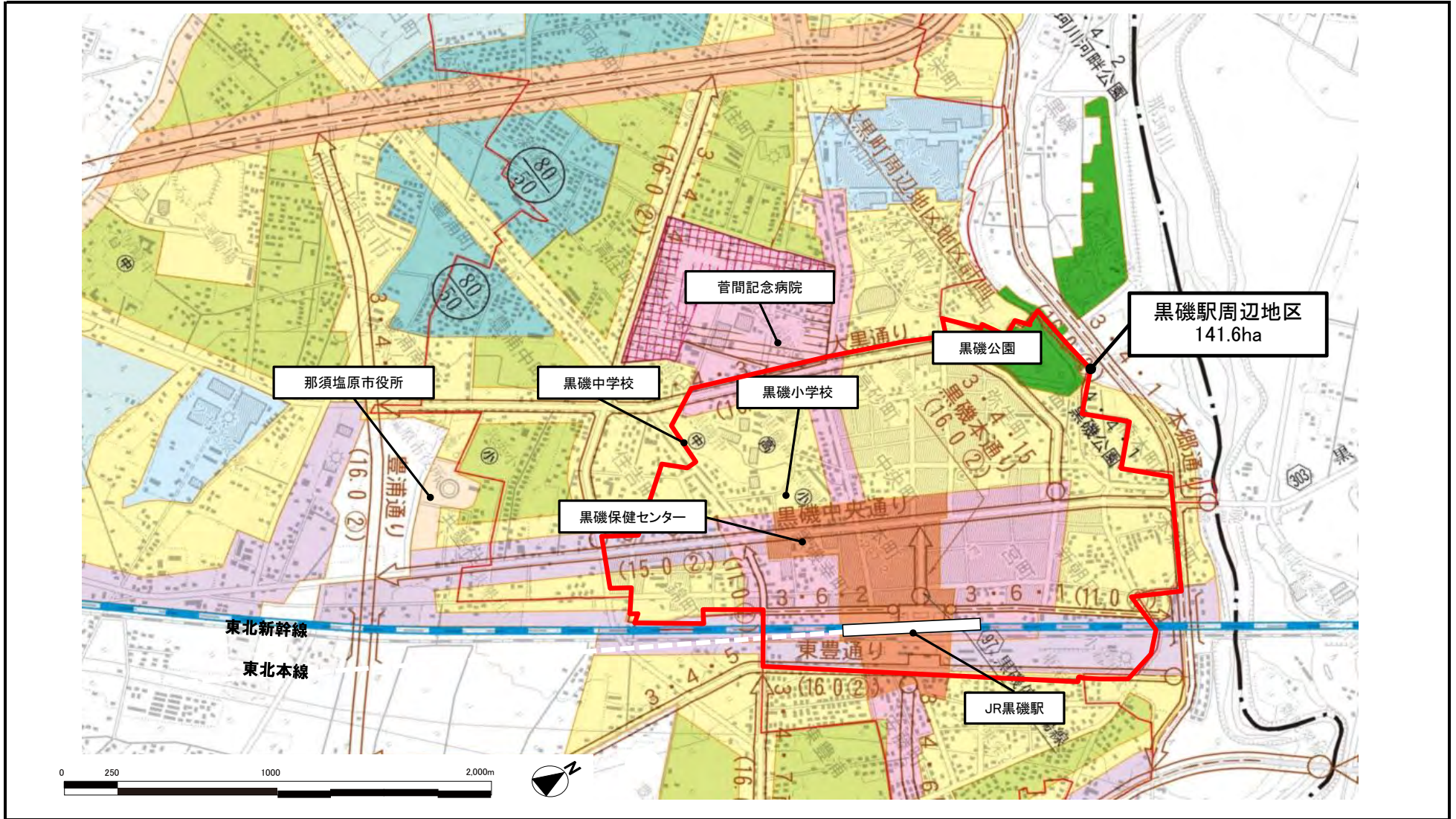
黒磯駅周辺地区(栃木県那須塩原市)

面積

141.6 ha

区域

本町、宮町、新朝日、中央町、高砂町、弥生町、錦町、黒磯幸町の全域及び住吉町、豊町、橋本町、本郷町、東栄一丁目の一部



黒磯駅周辺地区(栃木県那須塩原市) 整備方針概要図

目標	『都市機能の向上による持続可能な中心市街地づくりその再興』 1 快適な生活と滞在が可能な都市環境の形成。 2 地域資源を生かした商業空間の集積による街の魅力向上とにぎわいの再生。 3 交通結節機能の強化と駅東西市街地の一体性の確保。	代表的な指標	中心市街地についての満足度 (%)	23.2	(25年度)	→	66.6	(30年度)
			1時間以上の来街者の割合 (%)	17.6	(25年度)	→	48.4	(30年度)
			東西連絡通路利用者数 (人/12h)	480	(23年度)	→	510	(30年度)

